

茨木スクールカウンセラー研究会 日記

第47回 2015年8月 システムズアプローチについて学ぶ の巻

システムズアプローチの視点を学校現場で取り入れておられる方から、話題提供をしていただきました。学校現場において、児童とその家族を見るときにも役立つし、又、学校という組織を見るときや学級全体の中でどのようなことが起こっているのかなどを見るときにも役立つ視点だと思いました。

事例においては、プレイセラピーの中で、枠をどのように設定するのか、セラピストとして一貫した枠をもつことが、子どもの内面の安定をはかり、それが子どもを守ることになるかと改めて学びました。

記録： ほんなり (臨床心理士)

日時： 2015年8月8日(土) 13:00～15:00

場所： 茨木市男女共生センター ローズ WAM

参加者： 9名 (大阪府 SC、兵庫県 SC、大阪府教員、
その他、医療分野 CP、福祉分野 CP)

内容：

前半：参加者から話題提供

テーマ： システムズアプローチのあれこれ

—ちょっとだけ家族にも応用—

後半：心理アセスメントの練習

事例： 多動を主訴とした小学1年生男児と母親の

母子並行面接について

次回開催予定： 2015年9月12日(土) 13:00～15:00

テーマ： 緩和ケアにおける心理士の役割について